



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 東都水産株式会社  
 コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江原 恒  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当 (氏名) 田中 浩  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3541-5468

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	90,742	1.0	983	14.4	997	20.9	565	42.2
29年3月期第3四半期	91,680	5.5	1,148	9.4	1,261	8.5	977	9.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 974百万円 (42.7%) 29年3月期第3四半期 682百万円 (74.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	142.09	
29年3月期第3四半期	245.74	

平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	30,869	15,212	49.3	3,824.73
29年3月期	26,150	14,480	55.4	3,640.44

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 15,212百万円 29年3月期 14,480百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				60.00	60.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	3.5	1,200	10.8	1,300	14.3	800	35.8	201.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	4,026,000 株	29年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	48,549 株	29年3月期	48,405 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	3,977,529 株	29年3月期3Q	3,978,224 株

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しています。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善傾向を背景に、個人消費も持ち直し、緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済は米国及び中国の政策運営等の不確実性やアジア新興国経済の減速懸念、中東や北朝鮮における地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

水産物卸売市場業界におきましては、消費者の安全・安心な商品に対するニーズは依然として高く、継続的な低価格・節約志向により購買意欲は高まらず、水産資源及び漁獲量の減少、市場外流通との競合等、取扱数量の減少する厳しい事業環境で推移しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間と比べ1.0%減少の90,742百万円となりました。営業利益は租税が減少し、人件費等の縮減に努めましたが、売上総利益率の低下により、前年同四半期連結累計期間と比べ14.4%減少の983百万円、経常利益は前年同四半期連結累計期間と比べ20.9%減少の997百万円となりました。特別損失として、当社が保有する固定資産の譲渡に係る減損損失209百万円を計上いたしました結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期連結累計期間と比べ42.2%減少の565百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①水産物卸売事業

売上高につきましては、魚価は回復しましたが取扱数量の減少により、前年同四半期連結累計期間と比べ2.5%減少の82,039百万円となりました。営業利益は租税が減少し、人件費の縮減に努めましたが、売上総利益率の低下及び販売諸経費の増加により、前年同四半期連結累計期間と比べ21.1%減少の152百万円となりました。

## ②冷蔵倉庫及びその関連事業

売上高につきましては、在外子会社の売上高の増加及び為替レートの変動等により、前年同四半期連結累計期間と比べ17.0%増加の8,221百万円となりました。営業利益は売上総利益率の低下及び人件費等の増加により、前年同四半期連結累計期間と比べ17.2%減少の624百万円となりました。

## ③不動産賃貸事業

売上高につきましては、管理物件の稼働率の向上により、前年同四半期連結累計期間と比べ2.4%増加の481百万円となりました。営業利益は人件費の縮減に努めましたが、賃貸原価の増加による売上総利益率の低下により、前年同四半期連結累計期間と比べ0.7%減少の190百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ4,719百万円増加し、30,869百万円となりました。流動資産は3,330百万円増加し、18,912百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,881百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3,988百万円、商品及び製品が1,163百万円増加したことによるものです。固定資産は1,388百万円増加し、11,956百万円となりました。主な要因は、有形固定資産のその他に含まれております建設仮勘定が933百万円、無形固定資産に含まれております漁業権が340百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ3,986百万円増加し、15,656百万円となりました。流動負債は4,078百万円増加し、10,594百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が3,107百万円、短期借入金が1,134百万円増加したことによるものです。固定負債は91百万円減少し、5,062百万円となりました。主な要因は、長期借入金が89百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ732百万円増加し、15,212百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が配当金の支払により241百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により565百万円増加したこと、為替換算調整勘定が円安傾向により238百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.4%から49.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年12月16日に「固定資産の譲渡、連結子会社の解散（特別清算）及び債権放棄に関するお知らせ」で発表しましたとおり、平成30年3月31日に当社が保有する固定資産を譲渡し、同資産の一部を賃借して事業を行っている連結子会社である東水フーズ株式会社を解散する予定であり、当該損失額を特別損失に計上する見込みとなりましたため、平成29年5月9日に発表しました連結業績予想を以下の通り修正いたします。

## 〔通 期〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	115,000	1,200	1,300	1,000	251.41
今回修正予想 (B)	115,000	1,200	1,300	800	201.13
増減額 (B - A)	—	—	—	△200	—
増減率 (%)	—	—	—	△20.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	119,232	1,345	1,516	1,246	313.25

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,800	4,918
受取手形及び売掛金	6,562	10,551
商品及び製品	2,371	3,534
仕掛品	18	47
原材料及び貯蔵品	262	375
その他	336	369
貸倒引当金	△769	△884
流動資産合計	15,582	18,912
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,548	3,475
その他(純額)	3,307	4,196
有形固定資産合計	6,856	7,672
無形固定資産		
投資その他の資産	1,220	1,560
投資その他の資産		
その他	2,850	2,944
貸倒引当金	△359	△220
投資その他の資産合計	2,490	2,723
固定資産合計	10,568	11,956
資産合計	26,150	30,869
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,592	5,700
短期借入金	2,894	4,028
未払法人税等	129	38
賞与引当金	79	19
その他	818	806
流動負債合計	6,515	10,594
固定負債		
長期借入金	1,715	1,626
退職給付に係る負債	1,687	1,696
株式給付引当金	15	15
資産除去債務	46	46
その他	1,688	1,677
固定負債合計	5,154	5,062
負債合計	11,669	15,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,048
利益剰余金	10,653	10,977
自己株式	△96	△97
株主資本合計	13,981	14,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	553	679
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△337	△99
退職給付に係る調整累計額	△78	△33
その他の包括利益累計額合計	498	907
純資産合計	14,480	15,212
負債純資産合計	26,150	30,869

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	91,680	90,742
売上原価	86,230	85,592
売上総利益	5,450	5,149
販売費及び一般管理費	4,302	4,166
営業利益	1,148	983
営業外収益		
受取利息	34	24
受取配当金	45	55
その他	72	43
営業外収益合計	152	123
営業外費用		
支払利息	23	18
為替差損	—	80
固定資産除却損	15	6
その他	0	3
営業外費用合計	39	109
経常利益	1,261	997
特別利益		
受取損害賠償金	52	—
特別利益合計	52	—
特別損失		
減損損失	—	209
特別損失合計	—	209
税金等調整前四半期純利益	1,313	787
法人税、住民税及び事業税	324	221
法人税等調整額	10	0
法人税等合計	335	222
四半期純利益	977	565
親会社株主に帰属する四半期純利益	977	565

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	977	565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	283	126
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△592	238
退職給付に係る調整額	13	44
その他の包括利益合計	△294	409
四半期包括利益	682	974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	682	974
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,181	7,028	470	91,680	—	91,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	550	1,488	81	2,119	(2,119)	—
計	84,732	8,516	551	93,800	(2,119)	91,680
セグメント利益	192	753	192	1,138	9	1,148

- (注) 1. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	82,039	8,221	481	90,742	—	90,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	656	1,266	86	2,008	(2,008)	—
計	82,695	9,487	568	92,751	(2,008)	90,742
セグメント利益	152	624	190	967	16	983

- (注) 1. セグメント利益の調整額16百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産賃貸事業」において、当社が保有する船橋工場の土地及びその他の有形固定資産について、売却が決定したことにより帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は209百万円であります。